

ハネムーンで行く南米旅行記

脇田 智晴

WAKITA Tomoharu

(株)イセキ開発工機
国際部



はじめまして。推進工法用の掘進機メーカー、イセキ開発工機で海外営業を担当している脇田と申します。大学時代、ベトナムのハノイからホーチミンまでの2,500kmを自転車で走破するなど元々一味違う旅行が好きな変わり者です。3月に無事結婚し、新婚旅行はハワイでのんびりと行きたかったのですが、「こんな時しか行けないような所へ」という妻の一言で南米に即決定(笑)目指すはペルーのマチュピチュと世界最大の塩湖があるボリビア・ウユニです。二人とも旅慣れているほうですが、初めて足を踏み入れる南米に準備中からワクワクしました。

ニューヨーク～リマ～クスコ

経由地のニューヨークに2日滞在した後、ペルーの首都・リマへ。翌朝リマから国内線でおよそ南西に300kmほど離れたクスコへ向かいます。クスコはインカ帝国時代の首都であり、現地語で「へそ」という意味です。クスコを中心に繁栄を続けたイン

カ帝国は16世紀にスペイン軍に侵略され、インカの文化的資産は、そのほとんどが破壊されました。唯一残された礎石の上にスペイン風の建築物が立ち並んでいるのがクスコで、世界遺産にも登録されています。

クスコはインカ時代の石畳が敷き詰められた小さな街ですが、スペイン調の教会があり、中心地には綺麗な公園がある可愛らしい街でした。近代的なビルは一切なく、まるでインカ時代にタイムスリップしたような感覚。また「カミソリの刃一枚すら通さない」と言われるほど、寸分の間もなくぴたりと積み上げられた石組みは見事でした。

クスコに到着してまず行ったのは現地旅行会社でのマチュピチュ入場チケットと地元ガイドの手配。マチュピチュは一日の入場数制限もあるため、事前にインターネットかクスコで入場チケットを購入するのがおすすめです。

あと、忘れてはならないのは高山病対策。標高約3,400mに位置するクスコは、富士山の8合目と同じくらいの酸素濃度しかないため、走らない、水をたくさん飲む、地元名産のコカ茶を飲むといった高山病対策があります。

2日間かけてクスコでの高度順応を行った後は、いよいよマチュピチュ遺跡へ。

クスコ～マチュピチュ

クスコを早朝に出発。ビスタドーム号という電車で200kmほど先にあるマチュピチュ村を目指します。車内では民族舞踊の披露や、軽食のサービスがあったりして3時間の行程もあっという間。妻も民族舞踊をしっかりと踊らされていました。マチュピチュ村からバスでつづらおりの山道を登ること20



世界遺産クスコの街並み



マチュピチュ遺跡を見下ろす

分、ようやくマチュピチュ遺跡の入り口です。教科書やテレビで何度か見ている風景が目の前に広がり、天空城の王様になったような気分を満喫。切り立った山沿いに、これだけの遺跡を構築したインカ帝国の技術力の高さ、天文学に基づく設計の数々に感銘を受けました。マチュピチュの歴史、文化、生活様式など地元のガイドさんが丁寧に教えてくれ、大満足でした。ガイドブックには載っていない話も聴けるので、是非ガイド付きでの訪問をお勧めします。マチュピチュ初日は一通り遺跡を見学して終了。夜に地元産ビールを飲んだら、高地のため一瞬で酔っ払ってしまいました（笑）

翌日の目的地はマチュピチュ山。マチュピチュ遺跡はマチュピチュ山とワイナピチュ山と呼ばれる二つの山の尾根沿いに作られたもの。入山制限により、ワイナピチュは予約いっぱいに入山不可だったため、あきらめてマチュピチュ山の頂上を目指しました。登山道には日本では見たことのない花が咲き乱れ、つらい登山道も楽しく登れました。妻も私も登山好きなので体力は問題ありませんでしたが、ちょっとハイキングのつもりで登り始めた人には少々キツイコース。2時間ほどかけてようやく頂上到着。残念ながらガスで遺跡は見えませんでした。下山時によりやうく霧が晴れてめでたくマチュピチュ遺跡を見下ろすことができました。2日間マチュピチュを堪能し、再びビスタドーム号でクスコへ戻ります。

● クスコ ～ ボリビア・ウユニ

クスコ空港からボリビアの首都ラパスを経由して、ウユニへ。ラパス～ウユニ間は18名乗りのセスナ機で移動。1時間のフライトですが、機体が上下に揺れ、手に汗握る飛行でした。ウユニには360度真っ白な塩でできた絶景を誇る世界最大の塩湖があり、南米の人気スポットです。地元の旅行会社で「ウユニ塩湖半日ツアー」「ウユニ塩湖で夜空と朝日を見るツアー」に申し込み。半日ツアーには韓国人2名、日本人3名、ボリビア人2名で参加。四駆の自動車で、ガイド兼運転手が我々をウユニ塩湖の中心部まで連れて行ってくれます。塩湖中央部では、一面真っ白で遠近感がないことを利用して、様々なトリック写真にチャレンジしました。夕焼け時には、



ウユニ塩湖でおもちゃを使ったトリック写真



夕焼けのウユニ塩湖

雨期にしか見られない「鏡張り」のスポットへ。鏡のようにすべてのものが反射して塩湖上に投影される幻想的な風景は圧巻です。深夜2時にスタートする夜のツアーでは、鏡張りスポットに戻り、星空を鑑賞。夜空一面の星が湖面の水に反射し、星空が足元に広がります。朝日が昇るまでこの神秘的な景色をたっぷりと堪能しました。

● ウユニ ～ ラパス ～ リマ ～ ヒューストン ～ 成田

ボリビアの首都ラパスで一泊して、リマ～ヒュー



湖面に映る文字は・・・

ストンを経由し成田へ。14時間の時差があるため、日付上は3日もかかるような大移動のすえ帰国いたしました。

● まとめ

新婚旅行のような機会でないとなかなか行けない南米に行けて本当に良かったです。アレンジ等も上手くいって、妻の私に対する評価も多少は上がったかな？危ないこともなく、南米の文化にたっぷりと触れることができた楽しい旅でした。

